



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

2023年 4月 5日

環境大臣 西村明宏 殿

株式会社椿本チエイン
代表取締役会長

古世 寛二

つばきグループは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題のひとつであることを認識し、グローバルな事業活動において環境配慮に努め、モノづくりを通して環境価値と経済価値を創出し「持続可能な社会の発展」に貢献します。

1. 気候変動への対応のため、カーボンニュートラルの実現に向けて、サプライチェーン全体を通じたCO₂排出削減に取り組みます。

- ◆太陽光発電による自家発電の拡大、再生可能エネルギーの積極的な導入、省エネ設備・生産への転換等により、Scope1+2 CO₂排出総量を国内は2030年度までに2013年度比46%削減、海外は2018年度比30%以上削減し、2050年度までにはネットゼロを目指します。
- ◆TCFDへの賛同表明を行い、TCFDが推奨する「気候変動が与えるリスクと機会」などの情報開示の枠組みを活用して、自社のリスクや機会の抽出、評価、シナリオ分析を行い、その対応策を事業戦略に反映させていきます。
- ◆SBT認定を取得し、Scope3 CO₂排出量削減目標を設定して、サプライチェーン全体で科学的根拠に基づく温室効果ガス排出量の把握と削減活動に取り組み、その情報を積極的に開示します。

2. 資源の有効活用とリユーズ・リサイクルに取り組み、循環型社会の形成に貢献します。

- ◆3R (Reduce, Reuse, Recycle)の推進により、製造工程および事務スペースで発生するすべての廃棄物の総排出量を管理し、削減に努め、リサイクル率99%以上を目指し、循環型社会実現に貢献します。
【具体例】
 - ・廃棄物の再利用においては、金属プレス品の打抜きスクラップを鋳物製品の材料として使用します。
またプラスチック製品においては、リサイクル材を材料として一部利用します。
 - ・オフィスで働く社員すべてが環境個人目標を設定し、取り組みます。またゴミの分別、ペーパーレス化や裏紙使用により資源を大切にします。

3. 大気、水質汚染防止に万全を期して取り組みます。

- ◆ISO14001規定に従った、予防処置の徹底と定期的な監視測定により、大気・水質汚染防止に努めます。
(水質については、毎月構内の最終排水口の水質を分析します。)

4. 「地球にやさしい社会の実現」に向けたエコプロダクトの開発・普及を促進します。

- ◆カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーに貢献するエコプロダクトの開発・販売促進に注力し、環境価値と経済価値の両立を目指します。
- ◆特にCO₂排出削減効果については、削減量の定量的な把握を行い、お客様へその情報を積極的に提供します。
- ◆自動車エンジンに搭載するタイミングチェーンシステムの耐久性強化により、自動車の長期使用に寄与します。

5. 「持続可能な社会の発展」に貢献すべく、「環境理念」「環境方針」を定め、環境配慮型経営を推進します。

- ◆当社独自の「エコ・ファクトリー認定制度」により自発的な改善を促し、社内一丸となって環境配慮型経営に取り組みます。

株式会社椿本チエインは、上記の取り組みの進捗状況を確認し、その結果を環境省へ報告するとともに、当社ウェブサイトや統合報告書などで定期的に公表します。